

平成 26 年度 研究計画書

Research Plan FY2014

講座名・職名 Course Title・Job Title	日本語・日本文化講座 教授
氏名 Name	小矢野 哲夫
専門分野 Academic Field	日本語学

平成 26 年度 研究計画 Research Plan FY2014

主たる研究テーマ Principal Research Subject	モダリティ副詞				
研究計画 Research Plan	<p>短期的な計画は以下の3点。①「発話に伴う顔の表情、声の表情」というテーマで、モダリティ副詞「まさか」が発話される際の、顔の表情や声の表情がパラ言語的意味においてどのように説明されるのかについて、コミック、アニメ、ドラマなどから得た資料に基づいて解釈する作業を行う。同時にコミック及び映像資料からのデータ収集に努め、表情のステレオタイプ、声の表情のパターンなどの分類の精度を強化する。②「現代日本語の時間の表現」というテーマで、時間を表現する形式に基づいて、客観的な時間の表現から、それからはそれた主観的な表現まで幅広く観察して、特に主観的な表現に関する特徴を説明する。具体的には、未来のことであるにもかかわらず「あした梅田に買い物に行ったときに……」のように「行った」という過去形が使われる、命令表現として使われる「歩く!」「どいた!」などの形式を取り上げて、時間表現の規則性を考察する。③「敬語の指針」(2007年) 文化審議会答申における敬語の5分類(尊敬語、謙讓語、丁重語、丁寧語、美化語)について、従来の3分類(尊敬語、謙讓語、丁寧語)をなぜ5分類に変更したのかといった点を検討する。</p>				
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research					
キーワード Keywords					